

1
進化する
親和
ここにも注目!

気軽に英語に触れる
「イングリッシュルーム」を開設

今年夏、新しく設置されるのが「イングリッシュルーム」。ALTが常駐しており、放課後などに、気軽に英語に触れて、英語コミュニケーション力をブラッシュアップすることができます。


イングリッシュルーム
完成予想図



2
進化する
親和
ここにも注目!

「共通テスト」で要求される
読解力を培う
「速読プログラム」を導入

2021年度入試から「大学入学共通テスト」が開始されました。「センター試験」との大きな違いは、どの教科も、問題文が大幅に長くなったこと。制限時間内に問題文の意図を正確に読解するのが難しく、苦勞する生徒も見られました。この新しい入試の傾向に対応するために、科学的メソッドに基づいて、読解力を培う「速読プログラム」を導入しています。



3
進化する
親和
ここにも注目!

海外の大学に
進学する生徒も増加

近年、海外の大学に進学する生徒が増えています。2021年度は、カナダ・フィールドストーン・キングス・カレッジスクールに留学後、トロント大学に入学した生徒や、本校から現役で北京大学、韓国の大学に進学する生徒も見られます。



2022年4月、親和女子高等学校に
[特進Bコース]
が誕生!

創立以来134年の伝統を有する親和。人格の形成とこころの成長を促す教育に力を注ぐとともに、学力を着実に養成し、高い進路実績を実現してきました。その伝統を基盤としつつ、親和の教育はいま、さらなる進化を遂げています。2020年度、画期的な国際教育プログラムを導入した「国際コース」を新設。2022年度には「特進Bコース」が誕生します。これまで以上に多様な生徒が集い、切磋琢磨する環境が実現します。時代のニーズに対応して、グローバル教育、ICT教育の充実を図るとともに、独自の「探究学習」の拡充など、「人間力」の育成にも努めています。ますます進化する親和の教育に期待してください。

**特進A
コース**

一人ひとりの
希望進路に合わせた指導で
高い進路実現を達成

高1は週2回の7時間授業、長期休暇中も補習を実施

高1は週2回、7時間目に授業があり、夏休み、冬休みにも補習が課されます。こうしたプラスアルファの学びによって、1年間で内部進学生に追いつけるカリキュラムを実現。高2からは、内部進学生の総合進学コースの生徒と一緒に授業を受けます。

授業後の個別指導などで、きめ細かくサポート

ハードな学びを頑張り抜けるように、きめ細かな指導を実施。親和には、教員に質問しやすい雰囲気があり、授業後に個別指導を受けている姿もよく見られます。

3年間で着実に力を伸ばし、高い合格実績を示す



生徒たちは3年間で着実に学力を伸ばしています。大学受験においても、内部進学生と同様に顕著な合格実績を示しています。

**国際
コース**

親和伝統の国際教育をさらに強化
グローバル社会で
活躍する女性を育成

原則として全員が中長期留学を体験


英語圏の高校を中心に、原則として全員が中長期の留学を体験します。コロナ禍の中でも、国内で充実した国際交流プログラムを工夫を凝らして実施しています。

大学入試で武器になるレベルまで英語力を強化

他コースより英語の授業を多く開講。英語が大学入試で武器になるレベルまで高めます。第二外国語(中国語・韓国語・スペイン語)も選択必修にしています。

英語が得意な中学生に有利な入試。海外の大学に進学する生徒も

入試科目は英語・面接・調査書。学科試験は英語だけなので、英語が得意な中学生に有利な入試です。卒業後は国際・外国語系の大学のほか、海外の大学進学をめざす生徒も増えています。






晴ちゃん

2022年度、「特進Bコース」が誕生!

勉強と部活動との両立を実現したい人、将来、教員をめざしている人などに最適のコースです

2022年度に新設される「特進Bコース」には、どのような特色があるのでしょうか。親和のオリジナルキャラクター「友ちゃん」「晴ちゃん」が、分かりやすく紹介します。



そのほか、スポーツ活動や、ピアノ・絵画・芸能などの芸術活動に、学校外で個人的に取り組みながら、勉強と両立させて、大学進学をめざしたいと考えている生徒の入学も歓迎します。

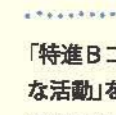


友ちゃん

プロチーム「ヴィクトリーナ姫路」と連携する強化クラブ「バレーボール部」



「特進Bコース」には、いろんなタイプの個性的な生徒が入学してきそうです。とても楽しみにしています。



「特進Bコース」のコンセプトは、「勉強」と「さまざまな活動」を両立できる学習環境を整えて、一人ひとりの個性を伸ばすこと。当然、これまで以上に、多様な生徒が入学してくることになり、お互いに切磋琢磨する雰囲気生まれることが期待できます。



「さまざまな活動」の具体例のひとつが部活動ですね。



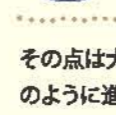
親和では、バレーボール部を強化クラブに指定しています。2020年7月から、プロチーム「ヴィクトリーナ姫路」と連携協定を締結。同チームからコーチを迎え、全国大会出場を目標に、練習に励んでいます。バレーボール部で活躍したい人は、ぜひ「特進Bコース」に入学してほしいと思います。



3年間かけてじっくりと学力を高められるカリキュラムを採用



ただ、勉強との両立は簡単ではないと、心配している生徒もいるかもしれませんね。



その点は大丈夫です。「特進Bコース」では、他コースのように進度を早めるカリキュラムは採用しません。つまり、高1では高1の学習内容、高2では高2の学習内容に取り組めます。3年間かけて、ゆっくりじっくり学力を高めていくカリキュラムになっているのです。授業も、クラブの練習や、他の活動などと両立させるために、ペースを考慮し、丁寧に確実に進めていきます。



スポーツや芸術などの活動に個人的に取り組んでいる生徒も歓迎



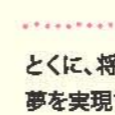
もちろん、「特進Bコース」は、バレーボール部への入部者だけに限定しているわけではありません。他の運動部や文化部の活動と、勉強を両立させたい生徒も受け入れます。親和にはいま、30のクラブがあり、強化クラブ以外でも、卓球部、バスケットボール部、バドミントン部や音楽系クラブなど、熱心に活動しているクラブがたくさんあります。



将来、教員になりたい生徒にとって夢を実現する「近道」になる!



「特進Bコース」のもうひとつの特色が、神戸親和女子大学に推薦入学できることです。教員や保育士をめざす生徒、国際文化や心理学、スポーツを学びたい生徒など、神戸親和女子大学に設置されている学部・教育内容に、興味のある生徒にとって魅力的な制度です。



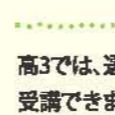
とくに、将来、教員をめざしている生徒にとっては、夢を実現する「近道」になります。というのも、神戸親和女子大学は、小学校教諭、幼稚園教諭、保育教諭、保育士、中学・高校の保健体育教諭などの採用試験において、西日本の大学でトップクラスの実績を誇っているからです。



高校時代から大学の授業を受けられ入学後に単位も認定される



神戸親和女子大学に進学する場合は、さまざまな特典もあります。受験料、入学金の免除や大学1年次の授業料が優遇されます。



高3では、選択科目として、神戸親和女子大学の授業も受講できます。入学後は大学の単位として認定されます。高校時代から、専門的かつハイレベルな授業が受けられることは、とても刺激的な体験になると思います。

MESSAGE

先生をめざす生徒にとって、「特進Bコース」はとて大きな選択肢になると思います。

神戸親和女子大学
竹内弘明 教授(親和中学校・親和女子高等学校 前校長)



今年4月、神戸親和女子大学教育学部(現・発達教育学部。2022年4月名称変更予定)児童教育学科教授に就任しました。「教職課程・実習支援センター」の副センター長も務めています。

本学部は、教員採用試験等で高い実績を誇っており、教育に対する学生

の満足度も高いものがありますが、それにはいくつかの理由があります。最も大きな要因は、教員と学生の距離が近く、手厚い指導が展開されていることです。また、私を含めて、小中高教員や教育委員会など、教育現場の経験が豊富な教員が多く、実践的な指導・助言が受けられる点も特色です。さらに「小学校教諭+中学校教諭」「小学校教諭+幼稚園または特別支援学校教諭」「幼稚園教諭+保育士」など、複数の免許・資格が取得可能で、プラスアルファの専門知識・技能を備えていることが、就職してからの強みにもなっています。

「将来、教員になりたい」という希望を持っている人にとっては、「親和女子高校から内部推薦で神戸親和女子大学をめざす」ルートが、夢を実現するための有効な選択肢になると思います。



神戸親和女子大学は教員採用試験において高い実績を誇る

	2019	2018	2017	2016	2015
保育教諭採用	全国1位	全国1位	全国1位	—	—
幼稚園教諭採用	西日本3位	西日本1位	西日本1位	西日本1位	西日本1位
保育士採用	西日本5位*	西日本1位*	西日本2位*	西日本1位*	西日本1位*
小学校教諭採用	西日本3位*	西日本3位*	西日本3位*	西日本3位*	西日本3位*

(2015年~2019年3月卒業生実績 大学選考課へ ※女子大学中の順位)

前日本代表監督がオーナーを務める「ヴィクトリーナ姫路」

ヴィクトリーナ姫路は、V1リーグに所属するプロチーム。前バレーボール女子日本代表監督(ロンドン五輪銅メダル)の眞鍋政義氏がオーナーを務めています。眞鍋氏は親和学園スポーツ顧問に就任し、本校バレーボール部の技術指導・サポートにも尽力されています。

